

神戈陵を渡る風

令和3年度 川辺高校 校長通信 第033号

令和3年12月8日(水)発行

もう間もなく2学期も終わりになります。クリスマスとお正月という大きなイベントが控えています。何をして楽しみますか？ 年末年始は何かと慌ただしくなります。油断して事故に遭わないように注意しましょう。3年生の「勉強モード」の人は、リラックスする時間を持つことを大切にしてください。プチクリスマスプレゼントとして「ゆったりする時間」が大切です。必要以上に自分を追い込みすぎないように注意しましょう。しかし、リラックスしすぎも禁物です。メリハリのある生活を送り、勉強を楽しむような頑張りを期待しています。今回は、修学旅行引率のため、いつもより早く発行しました。

散策日記 3

11月中旬

【平山の展望台】

鹿児島から川辺に向かうと、万之瀬川に架かる広瀬橋の後方に平たい丘というか台地が目につきます。山頂部分には、展望台の跡らしき建物が見えます。川辺小学校入り口からその塔を目指して登っていき、小学校の正門を過ぎて、右に上る道があります。

このあたりは、平山城跡で、本丸や二の丸のあった場所らしいです。山頂部の広場に車を留め、少し藪の中を分け入ると展望台に辿り着きました。



展望台からの眺めは絶景!です。川辺の東側が一望できます。眼下には、万之瀬川の広瀬橋が見え、ここでは川は大きく曲がり、南から西へと向きを変えています。



中央奥に前回話した荒尾峠があります。両添や今田方面が望めます。

【山砲座跡と豊玉姫の伝説】



先の大戦では、知覧では、特攻隊員の出撃と

いう大きな悲劇が起きました。猿山の山頂には、米軍の爆撃機から知覧の飛行場を守る対空火器として山砲(さんぱう)が代用して配備され、重い山砲は分解して、人が肩に担いで山頂まで運び、知覧では初めての対空火器として配備されていたそうです。同じ山頂には、豊玉姫



の伝説も語り継がれています。それが「猿山の鬢石(びんいし)」で豊玉姫が腰掛けた石だそうです。知覧町内には豊玉姫にまつわる伝説が数多く残されています。皆さんも調べてみてはどうですか？



【厚地の一里塚】



知覧町厚地には厚地の一里塚が残っています。この一里塚は、昔の知覧と川辺を結ぶ幹線道路(古道)沿いにあったようです。以前話した荒尾峠もこの古道沿いがありました。

第23回かわなべ青の俳句大会

11月27日(土)

今年は、3年生の坂上祈璃(さかういのり)さんが詠んだ俳句「単語帳 めくる頭上の流れ星」が鹿児島県知事賞を川辺高校は通算17回目となる学校賞を受賞しました。



岩崎行親(いわさきゆきちか)先生

鹿児島県第四中学校(旧制川辺中学校)初代校長の漢詩を紹介

鹿児島市吉野町にある寺山公園の大崎鼻展望台入口には「吉野寺山之賦」の詩碑(石碑)があります。この説明文には、岩崎先生の紹介と、この漢詩の読み下し文が記載されています。



岩崎行親先生の絶筆

吉野寺山之賦

登攀薩州吉野山
 雪晴風静開天關
 茫茫下界杯酌小
 櫻嶽錦江指顧間
 吉野之名驚我耳
 聯想延元蒙塵史
 姦臣柄危國家
 國家尤要賢良士
 推倒知勇一世雄
 開拓心胸萬古忠
 南洲龍川今何處
 寒烟蒼々憶二翁
 一朝虎嘯動天地
 其志不行退養器
 英雄行葦素如斯
 燕雀安知鴻鵠志
 此日感懷不可言
 樹下焚薪開清樽
 風景佳絕感無盡
 山頂祭天滌心魂

登攀する薩州吉野山
 雪晴れ風静かにして天関を開く
 茫茫たる下界杯酌小なり
 桜岳錦江指顧の間
 吉野の名我が耳を驚かす
 聯想する延元蒙塵の史
 姦臣柄を執つて國家を危くす
 國家尤も要す賢良の士
 知勇を推倒す一世の雄
 心胸を開拓す万古の忠
 南洲龍川今何れの処ぞ
 寒烟蒼々二翁を憶う
 一朝虎嘯すれば天地を動かす
 其の志行われずんば退いて器を養う
 英雄の行葦素より斯くの如し
 燕雀安んぞ鴻鵠の志を知らんや
 此の日感懷言うべからず
 樹下薪を焚いて清樽を開く
 風景佳絶感盡くる無し
 山頂天を祭りて心魂を灌う



【吉野寺山展望台(大崎鼻展望台)からの桜島と錦江湾の眺望】